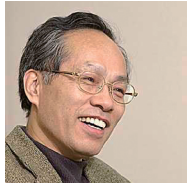


【出演】



雨宮処凛さん (作家)



佐高 信さん  
(評論家、『週刊金曜日』発行人)



佐藤 優さん  
(作家、起訴休職外務事務官)



山崎行太郎さん  
(文藝評論家)



進行：  
青木 理さん (ジャーナリスト)

# 月刊日本 週刊金曜日 共同講演会

# クーデター、 貧困とテロ

【日時】  
4月8日 水曜日  
午後7時～午後9時  
(午後6時30分開場)

【場所】  
なかのZERO 小ホール  
東京都中野区中野2-9-7  
電話03-5340-5000 (代)

【資料代】1000円



米国発の金融不況が世界を覆っている。規制緩和によって非正規雇用者が急増していた日本国内では、「派遣切り」によって仕事どころか、社員寮を追い出されて住むところを失う人々が続出している。厚生労働省の2月末の発表では、昨年10月から今年3月にかけて職を失う非正規労働者は15万7806人にも達する。

広がる絶対的貧困は、昭和初期（1930年代）の世界恐慌を思い出させる。それは、井上準之助・前大蔵相たちが射殺された血盟団事件、犬養毅首相が暗殺された五・一五事件などに代表されるテロとクーデターの時代でもあった。政治に絶望した人々がテロやクーデターに走ったのだ。

昨年、元派遣労働者による秋葉原無差別殺傷事件が起きた。元厚生事務次官の殺害事件ではメディアはこぞって「テロ」を疑った。われわれは今後、どのような時代を迎えるのか。また、それにどう立ち向かうのか。左右の論客が胸襟を開いて徹底討論する。

【問い合わせ】『月刊日本』編集部（尾崎） 電話03-5211-0096 <http://gekkan-nippon.at.webry.info/>

『週刊金曜日』編集部（伊田） 電話03-3221-8527 <http://www.kinyobi.co.jp/>